

第一新聞

発行所
第一未来館
Tel:088-655-5001

第155号



自分を信じて

3月4日は徳島県公立校入試の学科試験が行われます。緊張や不安もあると思いますが、今まで皆さんが積み重ねてきた努力は本物だと、そばで見ている私たちがだからこそ断言できます。

この日まで、徳島第一ゼミの中学3年生はひたむきに、実力に磨きをかけてきたと思います。よく頑張りました。さあ、いよいよ本番。自らの力を信じ、自らの手で未来の扉を開けにいこう！持てる力をすべて出し切った入試になるように、心の底から祈っています。ゼミ生、頑張れー！！

(竹田先生)



本気でやる季節

温かくなり冬もいよいよ過ぎ去り、春が目の覚める頃となりましたが、まだまだ冷える日も多いので皆さん体調には気をつけてください。

さて、春という季節は、年度の切り替わりであり進級・進学する小中学生にとっては、もしかしたら正月よりも大きな節目かもしれません。その大事な時期にあるのが春休み、そして春期講習です。春休みに旧学年の学習内容を改めて確認するとともに新学年の内容を先取りしておくことで、学校が始まったときにスタートダッシュを決めることができます。色々な先生が言っているのですが、「勉強にフライングはない」のです。この機会に周りの人より一足早く勉強を進めておくことで余裕をもってこれからの一年間の学習を進

めることが出来るでしょう。特に受験生の皆さん。まだまだ受験本番まで時間があるとのんびりしてはいけません。一刻と残り時間は減り続けているのです。そして受験直前には受験生全員が必死で勉強するのですから、そこで他の人に差をつけるのは至難の業です。何事も一本気になるのがどれだけ早いかなで勝負は決まる！のです。しかし、本気になれるきっかけが何かは人それぞれです。自分の志望校について調べているうちに本気でいきたいと思ったり、親や友達の些細な一言でやる気に火がついたり。とにかく、今すぐ自分から動き出しましょう。どうか、この春にみんなが自分の本気と出会えますように。

(宇都宮先生)



ゼミ/中学部だより

公立中・附属中の新中1・2・3生の皆さん、春休みに入るといよいよ新しい学年での勉強がスタートしていきます。気合を入れ直すタイミングとしては絶好の時期です。その中でも特に中学生最終学年になる新中3生(現中2生)の皆さんは、新年度の一年間を、大切な時間として認識してほしいのです。もう色々なことを自分で考えられるようになってきているはず。自分の進路・目標をしっかりと、やりたいこと・逆にならなければいけないことをとらえ、そのためには自分自身が変わらなければいけないということ、つまり見つめ直すことが多くあるはず。高校受験や大学受験は待つてくれ

春は高校入試の本番が近づいてきた。新中1生としての準備をしっかりと、自分の人生の中でも分岐点となるタイミングです。皆さんが自分なりにこれまで頑張ってきたことは十分に理解しています。

だからこそ、悔いのないように全力で臨んで下さい。そしてこれから高校生としての道を歩み始める皆さんは、一般的にはもうほとんど大人と変わらない扱いを受けることとなります。一つ一つの行動に責任が伴うことを自覚して高校生活を送って下さい。

「頑張れ」という言葉は、無責任・軽はずみの言葉だと言われることが最近よくありますが、言葉自体はとも前向きな意味が込められています。皆さんと私達、ご家族の皆様、学校の先生方や友人等、色々な人間関係が成立した上で、皆さんは本当の意味での「頑張る」が実践できるのです。

自分の歩みたい道をまじめに頑張る！それはとても素敵なことだと思います。「自分の未来を頑張っていくために今を頑張る」という言葉を、現中3生(新中1生)の皆さんに贈ります。高校入試が終わった後は、「新高1親子説明会」、「新高1準備講座(英語・数学)」、「これから頑張ろう会」が控えています。自分の将来を見据えて、しっかりと進んで行って下さい。

(工藤先生)

春って心機一転して頑張るには最適な季節だよ

うんうん



夜空の輝き

突然ですが皆さんは、星や宇宙が好きですか。仕事柄、いつも帰りが夜遅くなるためよく夜空を見上げますが、今の時期必ず目に入ります。「三ツ星さん」と呼ばれる、3つの横に並んだ星達の特徴的なオリオン座です。(本当は1月や2月にすべき話題で、3月の今はやや時期外れですが、)そしてその横にやや緑がかかった、ひときわ明るく輝く星があるのを知っているでしょうか。その星の存在には前から気づいていましたが、少し前にそれが木星であることが、機会があり、以来オリオン座を見つけては、必ず隣の木星も眺めるようになりました。地球よりはるかに大きい星とはいえず木星自体が光っているわけではないのに、太陽から遠く離れていてなお、これほど明るく輝くとはすごい存在感だなと思わずにはいられません。

そしてこれも最近偶然知ったことなのですが、木星には地球2個がすっぽり入るような大きさの台風が、400年前からずっと吹き荒れているそうです。威力は風速350mだそうで、想像を絶する世界ですね。同じ太陽系の惑星でさえこれほど恐ろしい環境だと思つくと、改めて宇宙は人間が計り知れるような存在ではないと感じてしまいます。

夜空を見ていると、そんな宇宙の一部を見ているような気持ちになれます。「降るような星空」という表現がありますが、仮に地上の街の明かりを全て消した時見えてくる本当の夜空の姿は、「星降る」という表現通りとても美しいです。

す。じっと見ていると宇宙の中に吸い込まれるような錯覚さえ覚えます。皆さんも塾の帰りなど気が向いた時に、少し夜空を見上げてみてはどうでしょうか。(今岡先生)

努力は必ず報われる。

「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのなら、それはまだ努力と呼べない。」これはプロ野球界最多の868本のホームランを打ち、「一本足打法」でおなじみの王貞治さんの言葉です。非常に有名な名言ですね。これを聞いて「努力していたつもりだけど、自分はまだまだだなあ」と自分を戒める人も多いと思います。

しかし世の中の中ですべてのことが、努力だけで達成できるのでしょうか。どんなに全力で走り続けようと、前へ走らなければまったく成長はしません。努力とは、決して量だけが重要なのではなく、正しい方向の努力かどうか、重要なことです。今日あなたが頑張った努力は、本当に正しい方向に進んでいるでしょうか。ときにしっかりと自分を見つめ直し、もし迷ったらいつでも私たちに相談してくださいね。(小倉先生)



桃の節句と高校受験

3月の初め、私たちが楽しみにするのは桃の節句です。桃の花が咲く季節に、子どもの健やかな成長を祝うこの日。家庭では雛人形を飾り、伝統行事が行われます。この時期になると、春の訪れを感じると同時に、私たちにどうして大切な出来事が迫っていることを意識するようになります。それは、高校受験です。

中学生生活を終える時期、私たちは長い学びの集大成として、受験を迎えます。これまで努力してきたことを試される瞬間です。学びの過程では、ときに壁にぶつかり、悩むこともありましたが、桃の節句のように、どんな困難も乗り越えて成長してきた自分を感じられる瞬間でもあります。

受験は単なる試験ではなく、これからの人生の一步を踏み出すための大きなきっかけです。どんな学校に進むかで、出会う人々や学びが変わります。そして、それは私たちの未来に大きな影響を与える大切な経験となります。

受験を通して、明るい未来に向かって進んでいくことが大切で、春の暖かさを感じながら、これまでの努力を信じて、次のステップに向けて踏み出しましょう。(日下先生)

